

レジフィックスRH (再生骨材 30~50%程度)

(再生用改質アスファルト；ポリマー改質アスファルトⅡ型相当)

昭和瀝青工業株式会社

概要

現在、省資源・環境保全の観点から舗装発生材を再利用した再生加熱アスファルト混合物を用いた舗装が一般化しています。レジフィックスRHは、主として重交通道路の耐流動対策に効果のあるポリマー改質アスファルトⅡ型相当の改質再生加熱アスファルト混合物に使用する再生用改質アスファルトです。

特徴

- ・劣化した舗装発生材の旧アスファルトの性状を回復させる。
- ・ポリマー改質アスファルトⅡ型を用いたバージン改質混合物と同等の耐流動性を有する改質再生混合物を製造できる。
- ・通常のポリマー改質アスファルトⅡ型と同様の取扱（プラント製造・現場施工）が可能。
- ・再生骨材 30~50%程度の配合に対応可能。

※ 再生骨材混入率は必ず配合設計にて事前に確認して下さい。

用途

- ・再生骨材を用いた耐流動対策用混合物
- ・再生骨材を用いた耐摩耗対策用混合物
- ・再生骨材を用いた橋面舗装用混合物

荷姿

- ・アスファルトタンクローリー車

表-1.レジフィックスRH代表性状

項目	代表性状	社内規格	
針入度(25℃)	1/10mm	81	70 以上
軟化点	℃	90.0	80.0 以上
伸度(15℃)	cm	100+	80 以上
タフネス(25℃)	N・m	22.8	16.0 以上
密度(15℃)	g/cm ³	1.033	報告
推奨混合温度	℃	165~180	報告
推奨締固温度	℃	155~165	報告

表-2.改質再生アスファルトⅡ型の代表性状^{※1}(例)

項目	代表性状	改質再生アスファルトⅡ型 社内規格	
針入度(25℃)	1/10mm	43	40 以上
軟化点	℃	58.5	56.0 以上
伸度(15℃)	cm	73	30 以上
引火点	℃	302	260 以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.15	0.6 以下
薄膜加熱針入度残留率	%	79.1	65 以上
タフネス(25℃)	N・m	22.9	8.0 以上
テナシティ(25℃)	N・m	16.3	4.0 以上
密度(15℃)	g/cm ³	1.039	報告

※1 再生骨材 50%添加の場合 再生骨材回収アス針入度:23

表-3.混合物の代表性状(例)

項目		改質再生混合物 再生骨材 50%配合 レジフィックスRH使用	バージン改質混合物 レジフィックス (PMAⅡ型) 使用	基準値 [※]	
マージナル特性	密度	g/cm ³	2.435	2.433	—
	安定度	kN	17.4	13.2	7.5 以上
	フロー値	1/100cm	38	37	20~40
動的安定度(DS)	回/mm	7875	7875	3000 以上	

混合物種：改質再生密粒度アスコン(20) 骨材：弊社姫路アスコン使用分 ※舗装施工便覧（H18.2）参照
注）混合物性状は使用される骨材や混合物種によって変わります。